



美木中だより 3月号

学 校 教 育 目 標

自立貢献

～自己を認識し、自分の人生を選択し、
表現することのできる生徒の育成～

令和7年3月13日
発行
尾道市立美木中学校

令和6年度 第76回卒業証書授与式を挙行了しました

3月7日（金）、午前9時30分から令和6年度尾道市立美木中学校第76回卒業証書授与式を挙行いたしました。1年生も2年生も出席、多くの来賓の皆様にもご臨席して頂きました。今年度の卒業生60名は、たくさんの思い出とさまざまな思いを胸に本校を立派に巣立ちました。卒業証書授与式の答辞では、卒業生代表である國恵紗菜さんが、このような言葉をみなさんに伝えました。Wacciさんの「笑顔」と言う曲の歌詞には、「笑いながら泣くような日々、泣きながら笑うような日々をそうやって生きていこう」という歌詞があります。1・2年生のみなさんもどんな時でも、泣いて笑って楽しく1日1日過ごしてください。というエールを受け止め、切磋琢磨を通して、生きる意味を見いだすとともに、この先にある未来を切り拓いてくれることと信じています。

卒業生のみなさん3年間素晴らしい姿を見せてくれて本当にありがとうございました。進路先でも自分らしさを大事にしてください。



令和6年度 立志式を行いました。

3月10日（月）、午後2時から令和6年度尾道市立美木中学校立志式を行いました。立志式とは、15歳を迎える前の中学2年生の今の時期に『志』を立て、自分の将来に向けて、精神的な支えにしよう」と行う儀式です。本校ではまず、中学校2年生全員が強い気概を持って自らの夢に挑戦していく思いを文章につづりました。

そしてこの立志式において、その代表として生徒会長 綾目伊桜くんが「誓いの言葉」を、福田和心さん・毎田莉子さん・西琥太郎くん・森嶋倫子さんが「志宣言」を披露しました。自分の夢は何か、そして夢の実現に向けてどのように自分が過ごしていくのかを、しっかりと自分の言葉で語っていききました。2年生はこれからの人生をどう過ごしていくか、改めて考えるすばらしい機会となりました。



式辞（卒業式）

梅の花から桜の蕾へと季節は移り変わり、春の訪れを感じる今日のよき日に、尾道市 企画財政部長 中山 泰則 様を始め、多くのご来賓の皆様、先ほど告示をいただきました 尾道市教育委員会 庶務課長 末國 照明 様、そして、多くの保護者の皆様のご列席を賜り、本校 第七十六回卒業証書授与式を挙行できますことに、衷心より、厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

保護者の皆様には、本日はお子様が義務教育九年間を終わられ、晴れて中学校をご卒業されますこと、誠におめでとうございませう。入学時から、ずいぶんと体も大きくなり、精神的にも大きく成長されたわが子の姿は、これまで注がれた愛情の賜物であり、お喜びはいかばかりかとご拝察申し上げます。また、これまで本校教育に対しまして多くのご協力をいただき、本日を迎えることができましたことに、心から感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、卒業おめでとうございませう。私が皆さんと出会ってから早、二年がたとうとしています。昨年度、皆さんが二年生の時、一緒に九州へ修学旅行に行きましたが、その時に皆さんの明るさや元気の良さを目の当たりにし、「この子たちが三年生になったら、より、にぎやかな学校になるだろう」と大きな期待感を抱きました。そして、年度が変わり、皆さんが三年生になると、ええじゃん S A N S A ・がり踊りコンテストや、体育大会、文化発表会などの行事を持ち前の明るさ全開で大いに盛り上げ、自分たちで創り上げる美木中文化のすばらしさを体現し、後輩へとつないでいきました。時には仲間とぶつかり合いながらも、より良い方向へと皆さんの力を結集してきたこと、こうした皆さんの力は確実に皆さん自身の成長へとつながりました。

いよいよ自分が決めた進路への入り口に立とうとしています。皆さんが生きていくこれからの世界はどのような世界なのでしょう。ある研究では、今、日本で働く四十九%の人がついている職業が今後十年のうちに A I やロボットなどに代替され消えていく可能性が高いと言われています。また、人生百年時代と言われる昨今、多くの人に八十歳まで働く可能性があり、定年まで一つの会社に留まることは難しく、転職や職種を変える、または独立起業するなど、キャリアシフトを重ねていかなければならないとも言われています。このようなことを言うと、将来に不安を感じる人も多くいると思います。しかし、皆さんを取り巻く社会は常に変化し続けています。元々日本は変化してきたからこそ今日の発展があるのです。これからの皆さんは、こうした変化の激しい社会の中で、自分自身で将来を切り拓いていく必要があります。そのためには、変化に対して戸惑わない、躊躇しないことが大切です。

「If you can dream it, you can do it. 夢見ることができれば、それは実現できる。」

これは、世界中で大人気の「ディズニー」の創始者、ウォルト・ディズニーの言葉です。彼は、数々の失敗や挫折、困難を経験しましたが、決して夢を諦めることはありませんでした。「自分に何ができるか」を探し、追求していくなかで生まれた「特性」が、これからの世界を生き抜く術になります。それを得るために、今、皆さんがやるべきことは「挑戦」です。その積み重ねによって、輝かしい明日や未来が約束されるのです。

これから皆さんが進んでいく、それぞれの新たな場所で、是非、明日の自分を未来の自分を輝くものにするために、失敗を恐れず、いろいろな事に挑戦してください。

一方で、人は一人で生きていくことはできません。皆さんには多くの仲間がいます。これから歩む人生は、決して平坦ではないでしょう。辛い時も多々あることと思います。そんな時にこそ、美木中学校での三年間のこと、そして皆さんを励まし続けてきた多くの仲間のこと、そして皆さんを支え続けてくださっている家族のことを思い出してください。

終わりに、卒業生の皆さん、そして本日ご臨席くださいました皆様方のますますのご発展、ご多幸を祈念申し上げまして、第七十六回卒業証書授与式の式辞といたします。

令和7年 3月7日

尾道市立美木中学校長 阿世比丸 一樹